

研究	ASRによる劣化が生じた構造物のモニタリングに関する検討	
<p>ASRによる劣化が生じた構造物の膨張挙動を把握するとともに、鋼板巻立て等の拘束による膨張抑制効果を評価するため、大型の試験体を製作しひずみ等のモニタリングを行っています。また、本試験体に対して、数値解析シミュレーションを行うため、解析モデルの検討や妥当性評価を行っています。</p>		

研究	水中ドローンと3次元データを活用した海洋構造物の点検診断に関する検討	
<p>海洋構造物の海中部分の点検診断は潜水士による目視点検や計測が一般的です。しかし、海中作業は危険も多いため、水中ドローンや3次元データ(CIM)を活用した安全で効率的な点検診断方法を検討しています。8月に、点検効率や課題等を確認するための現地実験を中部地方で実施しました。今後も複数の港湾で実験を実施する予定です。</p>		

出張	海外出張報告 1	
<p>9/15-20に国総研が実施したカボゾアの港湾調査とヒアリングに、加藤が同行しました。港湾基準の策定の協力に向けて、公共事業運輸省、ブノポンおよびシアヘル港湾公社の技術者と交流を深めました。約10年ぶりの訪問でしたが、取扱貨物量が以前と全く異なることに大変驚きました。</p>		

出張	海外出張報告 2	
<p>9/17にフランスのIfsttarで日仏研究WSが開催され、川端が参加しました。本WSは、日仏の共同研究を加速させることを意図して開催されたものです。WSでは若手研究者が中心に発表しました。今後の日仏共同研究への発展などが期待されています。川端は日本のASR/DEFについて発表しました。</p>		

最新の成果発表

1)	田中豊, 黒木賢一, 川端雄一郎, 加藤絵万, 染谷望: 中詰材の固化による既設ケーソンの補強に関する実験的検討, 第44回海洋開発シンポジウム, 2019
2)	池野勝哉, 白可, 岩波光保, 川端雄一郎, 加藤絵万: 斜杭式棧橋上部工のプレキャスト化に関する杭頭接合方法の提案, 第44回海洋開発シンポジウム, 2019
3)	田中豊, 黒木賢一, 川端雄一郎, 加藤絵万: 中詰材の固化がケーソン側壁の耐荷力に及ぼす影響に関する実験的検討, 土木学会第74回年次学術講演会, V-398, 2019
4)	野上周嗣, 加藤絵万, 田中敏成: 棧橋上部工点検用ROVおよび点検診断支援ソフトによる点検作業の効率化, 土木学会第74回年次学術講演会講演概要集, VI-770, 2019
5)	黒木賢一, 田中豊, 川端雄一郎, 加藤絵万: 中詰材の固化によるケーソン側壁の耐衝撃性向上に関する実験的検討, 土木学会第74回年次学術講演会, V-399, 2019
6)	Tanaka, Y., Kawabata, Y. and Kato, E.: Statistical Analysis of Deterioration Progress in RC Superstructure of Open-type Wharf, 4 th International Symposium on Concrete and Structure for Next Generation, 2019
7)	Tanaka, Y., Kuroki, K., Kawabata, Y. and Kato E.: Experimental Study on Reinforcement of RC Caisson Wall by Solidification of Filling Materials, The 3 rd ACF Symposium "Assessment and Intervention of Existing Structures", S2-3-1, 2019
8)	K. Minowa, T. Shimomura and Y. Kawabata: Experimental investigation and modeling of the influence of environmental actions on shrinkage behavior of concrete, Proceedings of the 3 rd ACF Symposium "Assessment and Intervention of Existing Structures", S2-2-6, 2019
9)	E. Kato, S. Nogami, Y. Kawabata and T. Tanaka: Demonstration test for improvement of inspection and diagnosis of concrete pier superstructure by remotely operated vehicle, Proceedings of the 3 rd ACF Symposium "Assessment and Intervention of Existing Structures", S5-3-1, 2019
10)	Ema KATO, Masahiko Hoshino, Hiroto Tado and Toru Yamaji: Development of an Evaluation Method for Corrosion Prevention Effect in Petrolatum Lining System, Proceedings of EUROCORR 2019, 2019
11)	Y. Kawabata, C. Dunant, K. Yamada & K. Scrivener: Impact of temperature on expansive behavior of concrete with a highly reactive andesite due to the alkali-silica reaction, Cement and Concrete Research, Vol. 125, 105888, 2019
12)	K. Yamada, Y. Kawabata, G. Igarashi and Y. Sagawa: Importance of the "pH of concrete" in various aspects of concrete durability and performance, Proceedings of 15 th International Congress on Chemistry of Cement, 2019

メンバー

氏名	役職	メールアドレス	靴のサイズ	今月の一言
加藤 絵万	グループ長	katoh-e@	23.5 cm	久しぶりに载荷試験を手伝いました。楽しかった。
野上 周嗣	主任研究官	nogami-s852a@	27.0 cm	水中ドローンがなかなか素直に動いてくれない...
川端 雄一郎	主任研究官	kawabata-y@	26.5 cm	マグロは来年に持ち越し。今年はシイラで終了。
田中 豊	研究官	tanaka-yu@	26.5 cm	载荷試験・準備の記憶しかありません。
平川 恭奨	依頼研修員	hirakawa-kyo@	26.0 cm	やっと涼しくなってきました!!
山田 幸夫	契約職員	yamada-yu@	25.5 cm	家に帰ってからの燗酒が楽しみな季節です。

※ メールアドレスの@以降はp.mpat.go.jpです。